

# マンモグラフィ検査 Q & A

**Q：マンモグラフィってなに？**

A：専用のX線撮影装置とフィルムを使用した乳房レントゲンのことです

**Q：誰が撮影するの？**

A：女性の検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師が撮影します

**Q：どうやって撮影するの？**

A：両方の乳房を圧迫板で上下・左右から挟み、2回ずつ撮影します

**Q：何がわかるの？**

A：触ってもわかりにくい1 cm以下の小さなしこりや石灰化を見つけることができ、乳がんの早期発見の力強い武器となります  
良性も悪性もほとんどの病気を見つけることができます



**Q：石灰化ってなに？**

A：乳管の中にできたがん（非浸潤がん）の一部が壊死し、そこにカルシウムが沈着した状態です

**Q：なんで圧迫するの？**

A：乳房の病気には、10分の1 mm程のとても小さなものがあるので、乳房を均等に圧迫し、質の良い写真を撮り、病変などをより良く見えるようにするためです

**Q：なんでこんなに痛いのか？**

A：排卵後から月経が始まる頃までは、卵巣から分泌されるホルモンの影響により乳房が硬くなるからです



**Q：いつ頃検査を受ければ痛くないのか？**

A：生理が始まって2～3日後から1週間くらいまでの乳房が柔らかい時期ならば比較的痛みが軽減します



**Q：超音波検査はどうなの？**

A：痛みがなく、触診ではわからない数mmのしこりまでは発見できます  
マンモグラフィと一緒に受けると病変の発見にとっても有効です